

2019年度 病院医療関連職域管理栄養士

・栄養士育成のための全国リーダー研修会

開催日：2019年5月18日（土）・19日（日）

会場：東京医科歯科大学

（1日目）

1. 平成30年度事業報告の件

平成30年度の活動は、スローガン「病院から在宅までシームレスな栄養管理・栄養指導を目指そう」を掲げ、①栄養士業務における成果の見える化推進、②栄養食事指導の実践、③人材育成：学生（養成校）と臨床現場をつなぐ、専門分野での生涯教育制度体制の構築、④シームレスな栄養管理体制推進、⑤病院フードサービスを充実させる、⑥専門団体として組織強化を図る、の6項目を中心に取り組んできた。それぞれ具体的な事業報告があった。

2. 2019年度事業計画（案）

医療事業部のスローガンである「地域包括ケアシステムの一翼を担うために栄養管理・栄養指導の連携をはかろう」をモットーに活動戦略の重点項目として、①管理栄養士の見える化推進とエビデンスを構築する、②シームレスな栄養食事指導及び栄養管理体制の推進を含めた情報共有を充実させる、③専門分野での生涯教育制度体制を構築する、④病院フードサービスを充実させる、⑤専門団体としての組織強化を図り会員増対策の強化を図る、の5項目を掲げ、これらの目的を達成するために講習会、研修会等の開催や、調査研究・刊行物の発行および普及、その他、事業部の目的を達成するために必要な事業を行っていくと提案があった。

3. 各ブロック報告

平成30年度に行われた病院医療関連職域管理栄養士・栄養士育成のための地区リーダー研修会について、各ブロックから報告があった。

4. 講演

山梨大学医学部附属病院医療の質・安全管理部特任教授である荒神裕之先生より、「これからの栄養管理と医療メディエーション～コンフリクト・マネジメント能力を高めよう」と題して、管理栄養士の活躍に伴い増加するコンフリクト（2つの物事がぶつかり合う状態で紛争や葛藤）対処法を知ることの重要性についての講演があった。

（2日目）

1. 平成30年度全国病院栄養部門実態調査報告

平成30年度に行われた全国栄養部門実態調査報告があった。今回は6,735施設の内2,977施設からの回答があり回答率も前回よりアップしていた。委託率の若干減少や給

食材料費の大幅アップ、個人栄養食事指導件数の若干増加などの傾向があった。

2. 診療報酬改定について

1)2020年診療報酬改定要望項目の整理について（案）

①回復期リハビリテーション病棟における管理栄養士の配置要件拡大について、入院料1への管理栄養士の必置や入院料2～4における栄養食事指導の包括外などが挙げられた。

②チーム医療における管理栄養士業務の評価について、緩和ケア加算における個別栄養食事管理料の適応疾患拡大やNST加算の対象病棟拡大などが挙げられた。

③その他、入退院支援センターにおける管理栄養士の業務を評価、専門管理栄養士の業務を評価、食事療養費の適正な評価などが挙げられた。

2)実態調査の追加調査について

回復期リハビリテーション病棟、チーム医療、病棟配置状況について今年度、実態調査の追加調査を行う予定としている。

3)管理栄養士病棟配置への中長期計画

2024年の診療報酬・介護報酬の同時改定を目標に管理栄養士病棟配置への中長期計画をたて実現を目指す。調査、企画、論文執筆、職能団体や学会の協力も踏まえての中長期計画案が挙げられた。

3. 嚥下調整食ブロック別研修会の開催について
日本摂食嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食分類2013の正しい理解を目的として、今年度11月～3月の期間で全国7ブロックで研修会を開催予定。

4. その他

1)食事療法学会

第39回は千葉県で2020年3月7日、8日に開催される。第40回は京都府で開催予定。

2)役員選出について

企画運営委員の役員選出について昨年度の統一議題で各ブロックでも協議されたが、来年度の選挙は従来通りの選出方法で実施予定。但し、職域統括事業部運営規定の変更により役員は医療から職域の変更があった場合は役員になることができなくなる。

3)その他研修会

①臨床栄養学術セミナー2019年9月29日
東京医科歯科大学

②スキルアップセミナー2019年12月7日
福岡県

（文責 医療 内菌雅史）